

介護予防センター

体成分分析

はじめました!

真誠会

InBody470



分析内容

- ① 体成分分析
- ② 筋肉量・脂肪量
- ③ 肥満指標
- ④ 部位別筋肉量
- ⑤ 部位別体脂肪量
- ⑥ 体成分履歴

主な体組成成分

○体水分量

体重の50~70%は水分であり細胞内水分と細胞外水分に分かれその均衡が悪くなるとむくれやすくなります。

○タンパク質量

水分と共に筋肉を構成する主な成分。タンパク質が足りないと細胞の栄養状態がよくない事を表します。

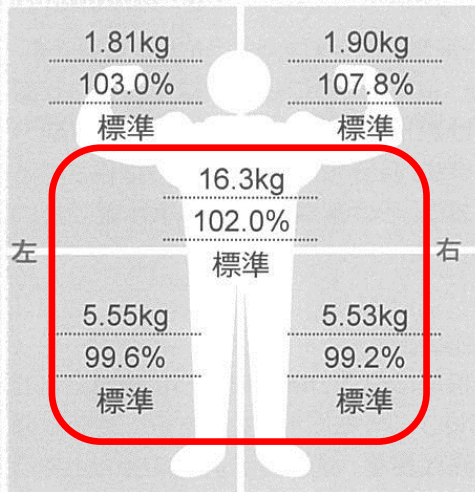
○ミネラル量

主に骨にあり、人体を支える役目をします。足りないと骨粗鬆症の危険が高まります。

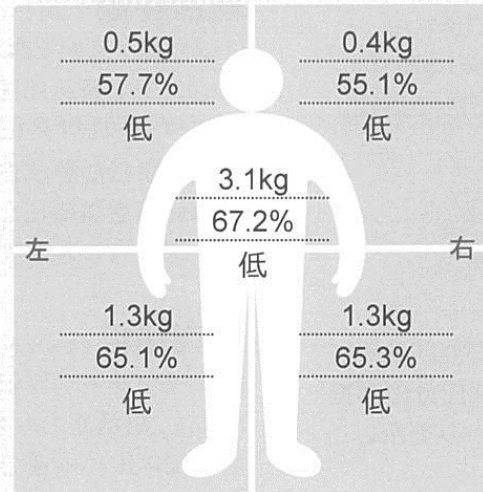
○体脂肪量

活動のエネルギーとして使われます。余分なものは脂肪細胞となり肥満の原因となります。

部位別筋肉量 Segmental Lean Analysis



部位別体脂肪量 Segmental Fat Analysis



体成分分析事例

T.S様 84歳（女） 頸椎神経根・腰椎椎間板症

以前から下肢の痺れや痛みはあったものの歩行は安定していた。今年初旬より歩行状態が悪化し、度々転倒するなど現在は歩行器を利用して移動。痩せ型の為、筋力低下を疑ったが分析結果から見ると下肢筋力は十分にある状態である「**筋肉型**」

結果から、痺れや痛みの影響はあるものの筋力はしっかりあるので、筋肉や筋が硬くなっている影響があるのではと、現在自宅でも下肢中心のストレッチを実施指導中。今後の改善が得られればと取り組み中です。

体成分分析を行い、個々に適した運動プログラムを作成し効果的に運動を実施致します!

また必要な方にはリハビリスタッフがワンポイント可動域訓練も行います!

体験ご利用随時受付中です!



乗るだけで
簡単計測!